

金賞を受賞した北川さん（右）と田町さん



石川県内産の食材を生かしたオリジナルの井の出来栄えを競う「いしかわ産『よい食井』コンテスト」の最終審査会が先ごろ、金沢市内で開かれ、金沢学院短大専攻科食物栄養専攻1年の北川智秋さんと田町文香さんの「五味夢中」が最高賞である金賞に輝きました。金賞を含む上位作品をAコープと生協で商品化し、8月下旬の新米の販売に合わせて期間限定で販売される予定です。

いしかわ産「よい食井」コンテスト

## 金沢学院短大チームに最高賞

(北川さん、田町さん)

## 「五味夢中」 限定販売へ



色鮮やかな「五味夢中」

石川の農林水産物の消費拡大を図ろうと、JA石川県中央会とアグリフォーラムいしかわが初めて実施しました。調理や栄養が専門の学生を対象に、一食当たり300円以内で、県産の食材のみを使うことを応募条件としました。20余点の応募があり、3作品が最終審査に進み、青木悦子原料理学校協会会長ら11人が試食して審査しました。北川さんと田町さんは「サラダ感覚で、さっぱりと食べやすく、色も鮮やかです。5つの食材の味を楽しめ、飽きの来ない井という意味で命名しました」と話しています。

## 俳句の魅力語る

## 文学部特別講義

金沢学院大文学部の特別講義は7月17日、4号館講堂で行われ、NHKアナウンサーの石井かおるさんが「俳句っておもしろい」と題して俳句の魅力を語りました。

石井さんは、俳句には時代を超えて作者と同じ感動を共有できる魅力があるとし、「季語は暮らしの中で獲得した知恵を凝



文学部の特別講義＝4号館講堂

## 「こころ」の形など解説

## 文学部公開講座

金沢学院大文学部の公開講座「こころの形」は7月18日、金沢市の県立生涯学習センターで開か

れ、榎木裕学長らが約50人の参加者を前に、所存も実体もはっきりしない「こころ」の形について哲学や心理学の視点で解説しました。



榎木学長の講義に聞き入る出席者＝金沢市の県立生涯学習センター

榎木学長は「心はどこに存在すると思うか」との問いを提示し、心と体を別々の実在物であるとする「心身二元論」と言語表現の関連性を指摘しました。国際文化学科の中崎崇志講師は心理学の歴史をひもときながら「こころ」の測定方法を紹介しました。

## カナダ留学を報告

金沢学院大の2010年第1回留学報告会Ⅱ写真左Ⅱが7月7日、4号館教室で開かれ、今春国際文化学科を卒業した中橋陽星さんが昨年9月から半年間にわたるカナダのユーロセンター・バンクーバー校での留学生生活について報告しました。中橋さんは留学について良かったと思うことについて▽英語力がつきTOEICの点数が70点ほど上がった▽生涯付き合っていくような海外の友人と出会えた▽バンクーバー五輪を体験できた▽日本の良さを再認識できたⅠと述べました。中橋さんは現在、羽咋中学講師を務めています。



30日に東高で見学会  
金沢学院東高校の学校見学会は7月30日、同校で開かれます。入試説明や部活動紹介、美術文化コース体験授業、体験入部などが予定されています。